

# サガハイマツト通信

サガハイマツトは、九州国際重粒子線がん治療センターの愛称です。



治療室での照射準備の様子(イメージ)

## スタッフ紹介

九州国際重粒子線がん治療センター

地域連携室 室長 きしかわありさ  
岸川亜里沙



看護師としての経験を生かし安心して相談できる環境づくりに努めます

地域連携室は、医療機関からの患者さんの紹介による診療予約の窓口になっています。また、重粒子線治療は、まだ治療を行っている施設も少なく、「一体どんな治療なの?」「どうやって受診すればいいの?」と思われる患者さんも多いことから、患者さんやご家族からの相談もお受けしています。これまでの看護師としての経験を生かし、まずは患者さんの声を丁寧にお聞きするなど安心して相談できる環境づくりに努めています。ひとりでも多くの方に「サガハイマツトで治療が受けられてよかった」と思っただけなら幸いです。

地域連携室(受診予約・相談窓口)

TEL:0942-50-8812 受付時間:月曜日～金曜日(祝祭日除く)9時～12時、13時～17時

※受診には、紹介状(診療情報提供書)、検査データ(CTやMRIなどの画像、採血や病理結果など)が必要です。まずは担当医にご相談されたうえで、ご予約ください。

## トピック

### \*前立腺がん51名を治療

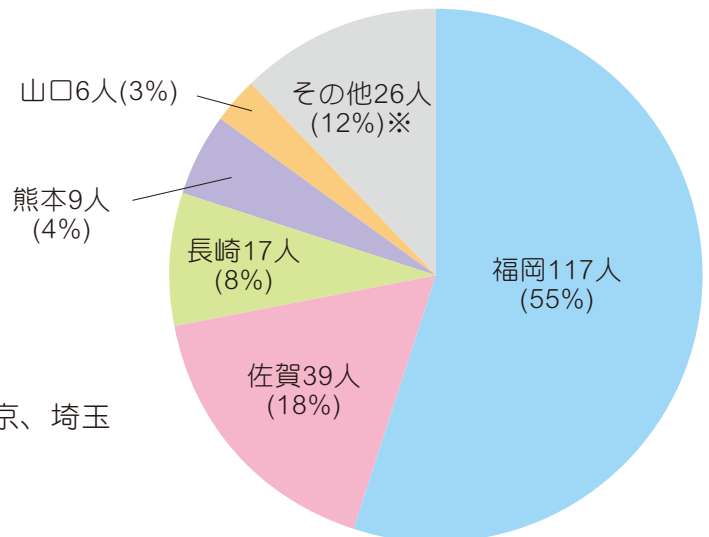
サガハイマツトでは、平成25年8月27日から、まずは前立腺がんの患者さんの治療を開始して、12月末の時点で51名の治療を行いました。この治療済みの方を含めて214人の治療予約をいただいています。患者さんの利用エリアを見ると、福岡県、佐賀県を中心に、沖縄県を含む九州の全ての県、中国地方、遠くは関東地方と広い範囲にまたがっており、九州のみならず、国内のがん治療の拠点として順調な一歩を踏み出すことができたと考えています。

#### サガハイマツトでの 治療予約状況(居住地別)

治療予約者 214人  
(治療完了者も含む)

平成25年12月末現在

※大分、宮崎、鹿児島、沖縄、広島、岡山、東京、埼玉



### ●治療の状況について、塩山副センター長に聞きました

サガハイマツトがまずは前立腺がんから治療を始めた理由のひとつは、前立腺がんの患者さんが増えていることです。もともと欧米に多く見られ60～70代が中心でした。しかし、近年は食生活の欧米化が影響し、日本でも急速に増え、40代、50代の発症も見られます。加えて、血液中に含まれるPSA（前立腺特異抗原）検査が普及し、初期の段階でがんが見つかるようになりました。外科手術による治療もできますが、排尿障害や男性機能喪失の不安から、重粒子線治療を希望する人が増えています。

前立腺がんの治療の場合は12回の照射で済みます。1週間で4回照射するため、3週間で治療を終えることとなります。患者さんが治療室にいる時間は約20分で、照射時間は1～2分ほどと短く、患者さんからは「もう終わったの」という声が聞かれます。



しおやま よしゆき  
塩山 善之  
医学博士。九州国際重粒子線  
がん治療センター副センター長。

### 治療を終えて

#### サガハイマツトで前立腺がんの治療を終えられた患者さんに感想を聞きました。

- 治療は午前中で終わったため、仕事にも影響が少なく、普段通りの生活を続けることができた。治療時間も短く、副作用もなく、本当に楽でした。(40代男性)
- スタッフの方が温かく、とても親切にいただいた。大好きなテニスやゴルフも続けることができた。重粒子線治療を選んでよかった。(70代男性)

## トピック

### \* 治療対象部位も拡大

サガハイマツトでは、その後の治療対象部位の拡大に向けた準備が順調に進んだことから、12月1日より頭頸部と骨軟部の治療受付及び治療を開始致しました。

なお、呼吸同期照射が必要な症例（肺、肝臓、膵臓）については平成26年3月の治療開始を予定しています。

こうした治療対象部位に限らず、受診希望や粒子線治療の適応判断に関する相談やセカンドオピニオンについてもお気軽にご相談下さい。

### \* 「先進医療」始まる

サガハイマツトでは、国の定める一定の基準を満たしたことから、平成25年11月から先進医療として実施できることとなりました。

これにより、先進医療として行う重粒子線治療の技術料は314万円となり、それ以外の通常の診療と共通する部分（診察・検査・投薬等）には公的医療保険が適用されます。

### (例) 重粒子線がん治療の費用負担イメージ

・ 公的医療保険の自己負担割合を3割とした場合

先進医療部分 (重粒子線治療)	公的医療保険適用部分 (診察・検査・薬代など)	
自己負担 314万円	自己負担 (3割)	保険給付 (7割)

← 患者さんの自己負担合計 →

※公的医療保険適用部分の自己負担割合は、年齢等によって異なります。

※先進医療の費用をカバーする民間の保険商品が多数販売されています。

### ●佐賀県に在住の方は治療費の助成を受けることができます

佐賀県では、がん先進医療受診環境づくり事業として、有効な治療法でありながら公的医療保険の適用がない「がん先進医療」の普及を図るため、佐賀県民の方ががん先進医療を受診する場合の治療費助成や、がん先進医療の治療費を金融機関から借りた場合の利子補給を行っています。例えば、サガハイマツトでの重粒子線治療を受けた場合は30万円の治療費助成を受けることができます。

平成25年10月1日以降に、国内の医療機関でがん先進医療の治療を開始した佐賀県民（県内在住1年以上）が対象となります。

また、鳥栖市では、県の助成とは別に治療を受ける鳥栖市民の方（市内在住1年以上）へがん先進医療に係る治療費の一部を助成しています。

本事業についてのお問い合わせは、下記にお願いします。

佐賀県 健康福祉本部 粒子線治療普及グループ（電話：0942-87-3072）

鳥栖市 総合政策課政策推進係（電話：0942-85-3511）

サガハイマツト

# Q&A

## Q. 治療中は、入院しなければいけませんか？

**A.** サガハイマツトには入院施設はありません。重粒子線がん治療は体を切らずにがんを治療できるので、高齢者や体力に不安のある患者さんにとって体への負担が少なくてすみます。このため、通院で治療できるというのが大きな特長です。例えば午前中に治療して、午後からはいつもと同じように仕事や家事をすることができるといった良さがあります。

遠方からお越しの患者さんで通院が難しい場合は、周辺の宿泊施設等をご利用ください。なお、サガハイマツトでは近隣の宿泊施設と下記のとおり提携し特典を用意していただいています。

患者さんの状態等により入院が必要な場合には、近隣の医療機関（連携医療機関）に入院しながら当センターでの通院治療を行うという形になります。

施設名	住所	電話(0942)	サガハイマツト利用者・家族特典
グリーン リッチホテル鳥栖駅前	鳥栖市京町726	87-1010	通年（平日のみ）※室料のみ シングル 1泊 5,650円（通常 7,560円） プレミアムルーム 1泊 7,780円（通常 9,720円） ツイン 1泊 6,480円（通常 8,100円）
サンホテル鳥栖	鳥栖市京町781-1	87-3939	朝食無料 1泊 4,700円（通常 5,700円）
チサンイン鳥栖	鳥栖市弥生が丘6-84	82-3711	シングル通年 ※室料のみ 4,000円（通常 5,200円～）
とりごえ温泉 <sup>すみか</sup> 栖の宿	鳥栖市河内町2352	82-5005	1部屋2名以上利用 (1泊2食付、サガハイマツトへの送迎あり) 1人 6,300円（通常 7,300円）
プラザホテル鳥栖	鳥栖市本鳥栖町615-7	84-5050	素泊り 1泊 4,600円（通常 5,800円） 朝食付 1泊 5,000円（通常 6,200円） 一泊二食付 1泊 5,800円（通常 7,000円） タクシーチケット付き（朝食付） 1泊 7,000円（通常 8,600円）
ホテルビアントス	鳥栖市酒井西町789-1	82-8888	デラックスルーム 1名利用 9,900円（通常 11,000円） 2名利用 14,175円（通常 15,750円） スイートルーム 2名利用 18,900円（通常 21,000円） ※室料のみ、サガハイマツトへの送迎あり
ルートイン鳥栖駅前	鳥栖市京町724-1	87-1050	「サガハイマツトからのご紹介」と言えば、 1泊朝食付6,500円を5,600円に割引。 さらに500円割引クーポンの併用可。 (枚数に限りあり)

(平成26年1月現在)

### ■ 寄附のお願い

佐賀国際重粒子線がん治療財団では、引き続き寄附を募集しております。県内、ひいては九州のがん医療の充実につながるサガハイマツトへのご支援をよろしくお願ひします。

なお、当法人へご寄附をいただいた方には、特定公益増進法人に対する寄附として、税制上の優遇措置があります。

詳しくは、当法人までお問い合わせください。

### ● お問い合わせ

発行元：公益財団法人 佐賀国際重粒子線がん治療財団 (担当)落合

電話：0942-81-1897 ファックス：0942-81-1905

住所：〒841-0071 佐賀県鳥栖市原古賀町415番地 HPアドレス：<http://www.saga-himat.jp/>